

## 令和4年度第2回奈良県公立大学法人奈良県立医科大学評価委員会議事概要

**開催日時** 令和4年8月10日（水）14:00～15:55

**開催場所** 奈良県庁 本庁舎5階 第一会議室（小）

（Webシステムを利用した遠隔会議にて開催）

### 出席者

（委員）垣内委員長、今中委員、竹田委員、任委員、堀委員

（法人）上野課長、吉田課長補佐、番匠主査

（事務局）龍見病院マネジメント課長、吉川課長補佐

その他病院マネジメント課職員

### 議題

令和3年度における業務の実績に関する評価結果について

### その他事項

令和4年度業務実績および中期目標期間の終了時に見込まれる業務の実績に関する評価

### 公開・非公開の別

公開（傍聴者0人、報道関係者 0人）

### 議事内容

#### 令和3年度における業務の実績に関する評価結果について

- 事務局より「資料1 公立大学法人奈良県立医科大学 令和3年度の業務に関する評価結果」の説明及び質疑応答

#### 項目別評価及び価値目標項目別評価について

I 地域貢献〈教育〉については各委員意見なし

I 地域貢献〈研究〉について

[堀委員]

P12 記述の中に論文発表とある。例年具体的に論文名を記載しているか。具体的論文名を記載するかを統一した方がよいのではないか。

[垣内委員長]

具体名を記載しないということで他の委員もよければ、後段の研究での記載との整合性も採れると思われる。

I 地域貢献〈診療〉については各委員意見なし

II 教育について

[堀委員]

オンラインで教育を行うのはマイナスの効果が考えられるが現在の評価体系では評価する項目がない。あくまで今ある評価体系の中でコロナの影響を評価すると、無かったということになるということで、影響の結果は将来出てくると思われる。評価結果はこれでよいがコメントしておく。

[垣内委員長]

フォローアップ的に医大側含め国全体として長い視点からの影響を見る必要があるように考える。

III 研究について各委員意見なし

IV 診療について

[堀委員]

P24”新型コロナウイルス感染症の影響により”の文言が文脈を考慮して修正したほうが良いのではないかと。P28にも同様の事象が生じている。

[垣内委員長]

事務局と検討し対応する。

V 法人運営について

[堀委員]

コロナの重点病院を引き受けるのは良いと考えるが、反面多くの補助金を受けていることを認識する必要がある。コロナの影響について各委員の考え方があると思うが、私は良い判断と評価した。

[垣内委員長]

令和4年度も国からの補助金があるので、考慮しておく必要がある。コロナがなかったとしたら、どういう収支になっていたかというシミュレーションをしていただいておいてほうがいいかもしれない。

[堀委員]

その点については難しいところ。コロナがなかったら一般診療はそんなに落ちない。コロナが来て救急も含めて患者さんを受けることができない。ところが、県からの通常時の補助金よりもずっと大きな病床確保補助金を受けている。結果的には、一般病床を減らして、コロナ対応病棟を準備することによって大きな収益が得られたことになっている。では、救急病棟を含む一般病棟を減らすことはよいことなのか問題となる。

[医大]

既にコロナが無かった場合の収支を経費の意識が緩まないようにシミュレーションし、法人内で共有している。シミュレーションではコロナの補助金がなければ 8.8

億円程度の赤字となっている。法人内で経営改善意識を高めるために役立てるよう心掛けています。

### **全体評価について**

[堀委員]

重要なこととして1点言うと、独法化当初の評価機構での議論でも今回のようなコロナや戦争などの期間中の評価項目の変更について話したがうやむやに終えた。今回の評価方法変更についてP2に記載があるが、誰が変えたか主体を記載していない。今後、他の事象により評価体系の変更の依頼が大学からあった場合、明確になるよう、評価項目を変えたのは評価委員会だと主体を明記すべきと考える。また、評価委員会と県と医大の3者が合意したことも記載すべきと考える。

[垣内委員長]

実施要領改正の主体は評価委員会。評価委員会と県と医大で協議した上で行っている。3者合意の下という文言を入れるかも含め、記載方法を検討する。

[堀委員]

赤字記載のコロナの影響について、冊子作成時に黒字になることによりどの箇所がコロナの影響か分かりにくいため、項目冒頭に\*アスタリスクを付けるなど明確にした方が良く考える。

参考資料1-3を評価書末尾の資料にしてほしい。県が出したくないという方針もわかるが、この資料により一覧として非常によくわかる資料となるとともに、県民への説明も行いやすくなる。

[垣内委員長]

\*をつけるかどうかなど、表記方法については検討する。

参考資料1-3については点数を削除し評価記号を記載するのみとするかどうか検討する。

[今中委員]

今回はコロナの影響について議論したが、今後も災害等含め同様のことが生じうる。例外として評価するのではなく、変わりゆく環境ニーズに対応して評価しているということだと認識しているのでコメントしておく。

[垣内委員長]

最終案を取りまとめ確認いただく。8/24に知事に報告する予定。その後9月議会に報告されることとなる。

### **令和4年度業務実績および中期目標期間の終了時に見込まれる業務の実績に関する評価**

- ・事務局より「参考資料10 公立大学法人奈良県立医科大学令和4年度の業務実績および中期目標期間の終了時に見込まれる業務の実績に関する評価について」の説明

[堀委員]

コロナの対応が政府として適切であったのか話題になっている。しかしそもそも評価項目にないことは評価できない。評価は将来の、今回であれば医大にプラスになることが助言できるかということが求められる。点数を付けるのみでは意味を成さない。そういうことが起こった際にどのような評価体系の変更を行うか、リスクに対する基本姿勢を議論することが大事。検討主体は県であるが、検討結果を残していくことが重要と考える。